

摂南大学で地域拠点化プロジェクトを実施しました！

日時：全体集合日：10月22日（土）、建築学科デザインフォーラム：11月9日（土）

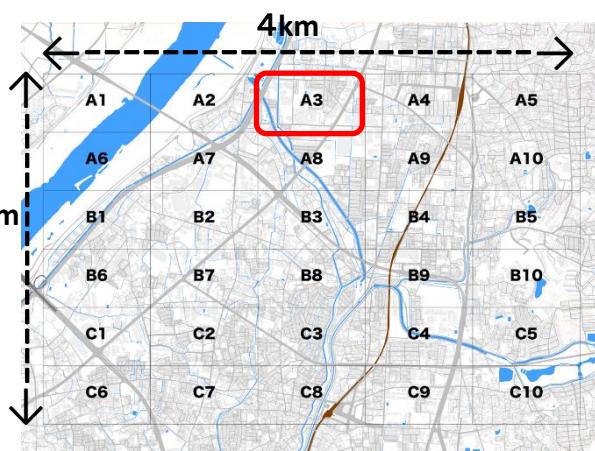
場所：摂南大学（寝屋川キャンパス）

参加者：摂南大学建築学科学生39名+住環境デザイン学科学生14名+両学科教員10名（計63名）

今回の見どころ

2015年10月13日に摂南大学を設置する学校法人常翔学園は「寝屋川キャンパスに隣接する日本ペイント寝屋川事業所の土地約38,000㎡の売買契約を締結し、土地取得によりキャンパス面積が約1.4倍となる」と発表しました。この発表により摂南大学の建築学科生と住環境デザイン学科生がこの敷地をどう使うのかを考え、理解する地域拠点化プログラムを開始しました。ここでは摂南大学周辺地域の3km～4kmの範囲を1/1000模型で作成し、模型材料は、敷地をシナベニア材、建物はバルサ材としました。今回のプロジェクトは、1年次～4年次の共同作業で行い、作成模型は建築学科デザインフォーラムのイベントで展示されました。

プログラム実施風景



敷地を30分割してA,B,C班に分けて各自のエリアを確認して決定しました。私はA3の敷地担当です。



敷地班は、イラストレーターを使いGISデータ上の道路を灰色、水路を黒色に塗りつぶしました。



作成したデータを外部機関に持ち込み、木材に道路と水路をレーザーで彫りました。



建物班は一斉集合日(10/22)に敷地模型にバルサ建物をつけました。このときボンドがはみ出さないように注意して作業しました。



敷地班、建物班が一生懸命作業して完成させた模型は細かい所まで綺麗に仕上がっていました。土地の高低は板を積み上げる事で表現しました。



模型上に地域拠点のカードを置き、表には写真、裏には場所と内容を書いて全く知らない人から見ても摂南大学の“活動”が伝わるように作成しました。

プログラム実施結果

各自がデータ作成した敷地を最新型のレーザーカッターでカットした時はその出来栄えに感動しました。また、このプロジェクトは約半年に亘って活動していたので、完成した模型を合わせた時、参加学生達は達成感に包まれていました。今回は建築学科生と住環境デザイン学科生の共同作業であり、スケジュール管理に苦労しましたが、初めての他学科生との作業はとても新鮮で楽しく進めることができました。今後、寝屋川市の地域の方への聞き取り調査等の機会を利用し、摂南大学の“活動”を伝えていこうと思います。